

9月の相談日です。日々の生活の中で、誰かに相談したいと思ったり疑問に感じていることはありませんか。そんなあなたからの声に応えるための各種無料相談窓口を紹介しします。秘密は厳守されますので、一人で解決しようとせず、まずは相談してみたいかがですか。



*市民相談センターは、市役所榛原庁舎北側の就業改善センター2階にあります。

一般相談

日常生活の中での困りごとや悩み、分からないことなどの相談を受け付けます。困ったらまずは相談を。

期日 月曜日～金曜日
時間 9:00～16:00
会場 市民相談センター
☎市民相談センター ☎0088

消費生活相談

契約トラブルや消費者金融、多重債務、商品苦情など、消費や契約に関する相談を受け付けます。

会場 市民相談センター
期日 月曜日～金曜日
時間 9:00～16:00
☎市民相談センター ☎0088

法律相談(先着8人)

相続や遺産分割、離婚、多重債務や債務整理などの法律解釈や手続き、人権に関する相談などを無料で受け付けます。弁護士、行政相談員、人権擁護委員が1回30分まで対応します。相談時には、参考となる書類などを持参してください。相談を受けるには、当日電話予約が必要です。

期日 9月1日(金)・15日(金)
時間 10:00～12:00
13:00～15:00
会場 市民相談センター
予約 8:30～
*当日電話予約のみ

☎市民相談センター ☎0088

心配ごと相談

日常生活から起こる家庭問題や金銭貸借などの紛争解決。司法書士と民生委員が対応します。

期日 9月8日(金)・22日(金)
時間 9:00～11:30
会場 市民相談センター
☎市民相談センター ☎0088

人権身の上相談

いじめや虐待、差別や偏見などの人権相談に応じています。

期日 9月9日(金)
時間 10:00～12:00
13:00～15:00
会場 相良庁舎3階 第1会議室
☎市民室 内藤 ☎2602

介護相談

介護に困っている人が安心して暮らせるように介護相談を行っています。介護保険の活用やサービスの利用など、介護に関することならどんな内容でも受け付けます。相談内容に応じて専門の相談員が対応しますので、気軽に相談ください。

会場 介護保険室(榛原庁舎)
期日 9月13日(金)
時間 9:00～12:00

会場 相良保健センター
期日 9月27日(金)
時間 9:00～12:00

☎介護保険室 ☎0076

行政相談

行政相談員が、行政に対する苦情や要望などの相談を受け付けます。

期日 9月1日(金)・15日(金)
時間 10:00～12:00
会場 市民相談センター

☎市民相談センター ☎0088

税の無料相談

税務・会計など税に関するあらゆる相談に無料で応じます。事前に問い合わせください。

期日 9月15日(金)
時間 13:30～15:30
会場 市民相談センター

☎東海税理士会島田支部 ☎0547@0088

高齢者虐待予防相談

「高齢者に関する虐待かな」と思ったときの相談です。事前に問い合わせをして、気軽に相談ください。

期日 9月17日(金)
時間 13:30～16:00
会場 相良保健センター

☎包括支援センターさがら ☎1900

巡回交通事故相談

県交通事故相談所の専門相談員が、交通事故に関する相談に応じます。事前予約が必要です。

期日 9月17日(金)
時間 10:00～15:00
会場 市民相談センター

☎市民相談センター ☎0088

榛原総合病院は紹介状がなくても受診できます。また夕方診療も実施しています。

小児科では、火曜日～金曜日まで外来診療を行っています。また火曜日と木曜日には、夕方診療も実施しています。
【小児科外来診療】実施曜日：火曜日～金曜日 受付時間：午前8時～午前11時
【小児科夕方診療】実施曜日：火曜日、木曜日 受付時間：午後5時～午後7時

夕方診療は、「仕事を休まないで病院へ行けない」などといった患者の利便性を考慮した通常診療です。小児科のほかに、総合内科も夕方診療(月曜日～金曜日)を実施しています。

FOR THE PATIENTS

榛原総合病院の復活
医療スタッフの充実が課題

榛原総合病院副院長 兼 院長補佐 小林 修三



安全・安心の医療を土台に
病院ほど複雑で多職種の人間が働いている職場はないでしょう。それだけに「しくみ」の調整が不可欠です。患者者になつたつもりで、患者の目線や動きに合わせて、院内を歩いてみるとわかります。不親切な掲示物や無理、無駄、むちゃくちゃな誘導などが多すぎます。どんな小さなことであってもすぐに改善すべきです。加えて、「しくみ」の調整を怠

ると医療の安全性を揺るがす結果まで招いてしまいます。医師と看護士、診療支援6職種、そして大きな土台作りにかかわる重要な事務職など、完全に同等な関係と目線でチーム医療を構築していくべきです。医療安全はこうした「しくみ」の見直しから行うべきだと考えています。このように、病院とは安全・安心の医療を土台に、優しい医療を行いつつ、質の高い医療に基づき、個性ある医療を展開していく「感動の舞台」であるべきです。

榛原総合病院の復活

榛原総合病院は、このような全職員一致の取り組みにより、わずか2カ月で経営的にも軌道に乗りました。

7月からは新たに療養病床(東館4階)がオープンし、病院全体で215床のベッドで稼働しています。

現在、平均入院患者数164人(ベッド稼働率約95%)、外来患者数約500人までに加え、多くの人が利用してもらえようになりました。特に6月は、初診として1550人が受診されています。救急車の受け入れも136台、手術件数は外科、整形外科、泌尿器科、婦人科で83件となり、6月には心臓血管外科手術(冠動脈バイパス手術、大動脈瘤手術)も2件実施しました。

当たり前のことを当たり前にするだけで病院は地域医療の中心となるのです。

医師や看護士には、できるだけ学会に参加させ研究を積み重ねるに病院として応援し、この病院が発展するよう最大の支援をしています。

新生榛原総合病院に足りないものは唯一、人手ですが、さらに大きい病院となるよう、職員一丸となつて頑張っています。

今後の展開と課題

徳洲会は全国に67病院あります。すべての病院はお互いを助け合いながら運営しています。規模も600床規模の病院から小規模の病院までさまざまですが、すべての病院がきちんと利益を確保しながら、その利益すべてを医療機器といった設備投資などに実施し、患者や地域に還元しています。

現在、榛原総合病院には、医師や看護士、薬剤師など多職種の医療スタッフが全国の徳洲会病院から応援してもらい頑張っています。このような医療スタッフの充実こそが今後の課題です。

特に医師は不足していますが、「不足」を「不足」として不平を言わずに可能な限り診療していく地道な努力によって、多くの患者を受け入れることができるのではないのでしょうか。

徳洲会には多くの優秀で働き者の医師が医局にこだわることなく、自由闊達な個性ある医療を行っています。

この榛原総合病院でも、多くの医療スタッフに、ぜひとも仲間になつてもらいたいです。特に地元出身の医師や看護士には、この地域の患者を自らの手で診(看)ていってもらいたいです。